



AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業  
 文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム「光の先端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術」  
 JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

# MEDICAL INNOVATION FORUM

メディカルイノベーションフォーラム

# 2018

平成30年 **12月5日** 水 15:00～17:30 (情報交換会 17:30～19:30)  
 ホテルクラウンパレス浜松 4階 芙蓉の間  
 浜松市中区板屋町110-17

主催:浜松医科大学

共催:静岡大学、豊橋技術科学大学、光産業創成大学院大学、静岡県、浜松市、浜松医工連携研究会(浜松商工会議所)  
 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

15:00～15:20

**学長挨拶** 国立大学法人 浜松医科大学 学長 **今野 弘之**

**来賓挨拶** 日本医療研究開発機構 産学連携部医療機器研究課 調査役 **鈴木 友人 氏**  
 文部科学省 産業連携・地域支援課 地域支援室長 **生田 知子 氏**

15:20～16:20

**基調講演**

## ニッチトップになるために知財を活用する方法論

知財戦略がテクノロジーを保有する企業にとって重要であるという認識が定着して久しい。  
 本講においては、ニッチトップというモデルを措定した上で、知財の重要性について、理論的に解明していきます。  
 また、併せて、オープンイノベーションの現状や政策論についても触れることにします。



内田・鮫島法律事務所 **鮫島 正洋 氏**

### プロフィール

東京工業大学金属工学科卒業。藤倉電線(株)(現 株フジクラ)にてエンジニア(電線材料の開発)、92年弁理士登録後、日本アイ・ビー・エム(株)にて知的財産業務を経て99年弁護士登録。2004年内田・鮫島法律事務所を設立、現在に至る。  
 弁護士業に留まることなく、知財戦略、知財マネジメント、知財政策など多方面に向けた発言を行い、その貢献に対して2012年知財功労賞受賞。  
 著書:「新・特許戦略ハンドブック」(商事法務2006)〔編著〕、「技術法務のススメ」(日本加除出版2014)〔共著〕、「知財戦略のススメ コモディティ化する時代に競争優位を築く」(日経BP2016)〔共著〕など。「下町ロケット」に登場する神谷弁護士のモデル。

16:20～16:50

**質疑応答および意見交換**

16:50～17:00

**閉会挨拶** 静岡大学 理事 (研究・社会産学連携担当) / 副学長 **木村 雅和**

17:00～17:30

**鮫島先生との名刺交換 および 情報交換会への移動**

17:30～19:30

**情報交換会** (会場:ホテルクラウンパレス浜松 4階 芙蓉の間)【参加会費 5,000円/1名】

# MEDICAL INNOVATION FORUM 2018

メディカルイノベーションフォーラム



## 開催趣旨

メディカルイノベーションフォーラムは、浜松・東三河地域を中心とした医療分野の製品・技術開発の推進を目的として開催され、今回で第12回目を迎えます。

本地域はこれまで、文部科学省知的クラスター創成事業、浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション(文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム)、文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)により、産学官が一体となって積極的に光・電子技術を基盤とした新産業創出を進めているところです。

一方、平成22年度からは「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」(JST地域産学官共同研究拠点整備事業)が設置され、医工連携活動を活発に展開してきました。加えて、平成27年度は浜松医科大学が国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の国産医療機器創出促進基盤整備等事業全国11拠点の1つとして、地域内外の医療機器企業の開発を担う人材の育成、そして新たな医療機器開発に関する医工連携活動の展開が期待されています。さらに、平成28年度には、文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム支援対象地域に選ばれ、「光の先端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術」をテーマとして益々医工連携、医療機器開発が活発になって参ります。

今回のメディカルイノベーションフォーラムにおきましても、医工連携活動の課題等について議論いたします。

医療機器の研究開発・技術開発・製品開発・事業化などに関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」とは?

平成21年度JST地域産学官共同研究拠点整備事業の採択を受けて、浜松医科大学を中心に平成23年度から本格的にスタートさせた事業。光・電子関連技術を核とする地域イノベーション戦略推進地域構想「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」において、連鎖的創出を目指す4つの新産業「次世代輸送機器産業」「新農業」「健康・医療産業」「光エネルギー産業」の一つである「健康・医療産業」を担うものです。「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」は平成28年度から「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(文科省)」へ継続。平成29年に、光・電子技術を活用した未来創成ビジョンの実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する「フロンティアセンター」を(公財)浜松地域イノベーション推進機構内に設置。

地域の強みを生かした産学官連携による連鎖的・継続的な新技術の事業化、オンリーワン・ナンバーワン製品の創出を推進することにより、健康・医療関連産業の基幹産業化、雇用の促進やベンチャー創出を通じて、本地域の活性化を目指しています。

## 国産医療機器創出促進基盤整備等事業とは?

医療ニーズを満たす医療機器の実用化が医療の発展に寄与することから、医療機関と医療機器企業との連携を効果的に進める必要があり、その鍵を握るのは医療機器の研究開発を担う人材という観点に立って、医療機関において医療機器の開発人材を育成することを通して、医療機器開発を担う医療機関の体制を整備し、国内外の医療ニーズを満たす医療機器開発の推進を図るための事業です。

フォーラム  
お問い合わせ先

国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部 TEL.053-435-2438 URL:<http://www.hama-med.ac.jp/>

AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業

文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

## メディカルイノベーションフォーラム2018参加申込書

参加費 無料(情報交換会 5,000円/1名)

申込要領 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限 平成30年11月30日(金)

メディカルイノベーションフォーラム

参加申込書(国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部)

FAX 053-435-2438

E-mail [ikollabo@hama-med.ac.jp](mailto:ikollabo@hama-med.ac.jp)

企業・団体名		TEL	-	-
		FAX	-	-
所在地	〒			
所属・役職				
氏名				
E-mail				
情報交換会	出席 ・ 欠席		出席 ・ 欠席	